

社会的責任と貢献活動

明日の漁業を担う「人」を育成します

深刻な漁業の担い手不足を解消するため、平成8年度に「島根県漁業就業者確保育成センター」を開設して以来、平成18年度末までの新規就業者数は、センターの漁業就業者発掘活動によりIターンの方を主体に175人となっております。

一方で、平成15年度から始まった自営漁業者への育成等支援事業により、自営としてUIターンの方を主体に31人が研修を修了しております。

また、この事業では研修生が、地区外のベテラン漁業者等から直接技術指導を受けることにより、より最新の漁業技術や知識を習得する場として「レベルアップ研修会」を開催しております。

都会地からの新規参入者を迎えるために、引き続き、情報発信の充実、受入体制の強化や環境整備に加え、県内における担い手確保対策を更に充実させた事業を展開していく所存であります。



レベルアップ研修会



漁業就業支援フェア

安心・安全・新鮮な島根の魚を届けます

「しまね定置もん」

島根県沿岸の定置網で獲られた魚を漁獲直後から出荷まで「殺菌冷海水」を使い、鮮度保持と衛生管理をしています。簡単に言うと、魚の一番活きのいい状態を保つことで、高鮮度が均一、つまりどの魚でも鮮度のばらつきが少なく安全・新鮮。さらにとれたての鮮度が抜群に良く、新鮮さも持続します。これが「しまね定置もん」です。



出港前、船倉に殺菌冷海水を積み込みます。



獲れた魚はすぐに殺菌冷海水の船倉に入れます。



帰港後、すぐに魚の仕分け作業をし、冷却します。



魚の体温を測ります。概ね5℃以下に保ちます。



箱に認証シールを貼って、市場等に出荷します。

「食育活動」



水族館での給餌の見学



お魚センター見学

JFしまね浜田支所女性部では、浜田市子育て支援課が中心となる食育支援ネットワークにおいて、地元浜田で水揚げされた魚を教材として、『さかなを見て、さわって、作って、そして食べる』という、食育を推進する事業「水産物ふれあい食体験事業」を実施しています。

この事業では、食生活形成の上で重要な時期

である保育園児およびその保護者を対象としている点に特徴があり、また「命の尊さ」「感謝の心」をもたせる内容を盛り込んでいます。

まず、泳いでいる魚を実際に見ることから始め、次に店頭で並ぶ魚を見学し、「魚も命ある生き物」であることを説明します。その後、直接保育園に赴き、園児・保護者と共に調理指導を行っています。



アジを見て、さわる（保育園児）



アジをさわって作る（保護者）

資源豊かな島根の海を創ります

『漁民の森づくり』活動

豊かな森は豊かな海をつくる「森は海の恋人」を合言葉に、漁業者が山に木を植える「漁民の森づくり」活動が全国各地で行われるようになりました。



島根県においても平成13年度から取組を開始し本組合が直接実施している地区においてはこの6年間に総面積66,850㎡の土地に広葉樹を中心として14,590本の苗木を植樹しました。また、これ以外に多くの地区で自発的活動として植樹活動が実施されております。

本活動は地図におととして見ればまだまだ「点」の活動ですが、今後この点が線となり、面の活動となるよう展開していかねばなりません。また、苗木が一人前となるには10年くらいの育樹期間が必要です。地元漁業者を中心にボランティアの協力を得ながら、周辺の下草刈りなど育樹にも力を入れ本事業を展開していきます。



『石けん洗剤推進運動～自然環境を守る～』

森と海をつなぐ川も含めた環境保全活動の一環として、漁協女性部を中心に石けん洗剤をはじめとする各種石けんの使用普及運動を進めています。今後も身近なところからその取り組みを進めていきます。

『島根県下一斉海浜清掃活動』

「海の日」を島根県下一斉海浜清掃日と位置づけ、毎年海浜清掃に取り組んでいます。当日は、漁協組合員を始め、地区ボランティアまた日頃から水産関係に携わる県庁職員、水産団体職員も参加し、毎年4,000名余で実施しております。毎年実施しているにもかかわらず回収ゴミの量は減らず、外国からの漂着ゴミに加えて、磯場や防波堤付近には釣具や弁当ガラ、空き缶といったポイ捨てゴミの量が増える傾向にあります。

